

南関町地域おこし協力隊活動報告会

地域おこし協力隊として活動してきた内容を、皆さんに『見てもらったり・聞いてもらったり』したいと思います。

高橋隊員と森本隊員は3月で卒業しますので、これまでの3年間の活動報告を行います。今年度採用された平野隊員は1年間の活動報告を行います。

活動報告の他、写真や作品展示なども行います。事前の申し込みは必要ありません。お気軽にご来場ください。

- と き 3月19日(木) 午前10時から11時20分
- と ころ 南の関うから館 2階 松風の間(予定)

参加費
無料



▲平野啓太さん



▲高橋幸宏さん



▲森本和臣さん



▶南関第一小学校で租税教室の様子

1億円って重たいね 町内小中学校で租税教室

玉名地区租税教育推進協議会(池田誠一会長)は、次代を担う児童・生徒たちに税の意義や役割を正しく理解してもらい、社会の一員としての自覚を持ってもらうために毎年租税教室を開催しています。今年度も役場税務住民課の職員や税務署職員、税理士が町内小学校4校と中学校を訪問し、租税に関する授業を行いました。マグネットシートやDVDなどを活用し、税金の使いみちや税金がなくなると自分たちの生活にどう影響するのかを学びました。

また、1億円のレプリカを展示し、持ちあげた児童は、その重さに驚いていました。

詩人 北原白秋135回目の生誕を祝う 白秋生誕祭in母の里なんかん

南関宿場町伝楽人(宮尾洋一会長)は1月26日、伝楽人による「白秋生誕祭in母の里なんかん」を国史跡豊前街道南関御茶屋跡で開催しました。

当日は、来場者にぜんざいが振るまわれ、伝楽人による白秋と南関町を題材にした紙芝居を披露。また、玉名市を拠点に全国、海外で演奏活動を続ける夫婦ユニット「音の和music」が「この道」「ゆりかごのうた」などの白秋の童謡を演奏しました。最後に、北原白秋作詞、山田耕筰作曲の「南関第一小学校校歌」を一小児童有志皆さんの元気いっぱいの校歌を斉唱で、幕を閉じました。



▶一小校歌を心をこめて歌う



▶参加者の皆さん

B&G海洋センター リニューアルイベント!!

1月25日(土)、B&G海洋センターの改修工事完成を記念して、リニューアル式典及び記念講演を開催しました。

式典では、佐藤町長が「B&G財団より助成いただき改修工事を無事に終えることができた。今後も施設の安全と利便性の向上を図りたい」とあいさつ。

式典後は、「～夢を叶えるために～」と題して、元サッカー日本代表選手の巻誠一郎さんによる記念講演とサッカー体験会を行いました。参加者からは「これからも夢を持ち続けて、いろんなことにチャレンジしていきたい」との声がありました。



▶授業で学習した内容を発表しました

いじめや差別はゆるさない 南関町人権フェスティバル

町人権フェスティバル実行委員会(会長:谷口慶志郎教育長)は、2月2日、「南関町人権フェスティバル」を南の関うから館で開催しました。

式は、南関ひまわり幼稚園の子どもたちによる歌からスタート。続いて小中学生が「友達のいいところ」や「家族への感謝の思い」など、人権学習で学んだことを発表しました。

また、町きずな解放子ども会による学習会に通いだしたきっかけや、それぞれの個性を認め合うことを語り、その後人権バンド「ゆう」による講演があり、実体験に基づく歌で思いを伝え、人権について深く考える一日となりました。

町内企業の連携でさらなる発展を 第17回南関町企業懇談会

1月24日、第17回企業懇談会をホテルセキアで開催し、町内の企業や団体、近隣高校などから69人が参加しました。この懇談会は、町内企業などと町、また企業など同士が情報交換を図り、さらなる発展につなげることを目的に開催しています。

今年は、フリーアナウンサーの橋本絵梨子さんを講師に、「スムーズなコミュニケーションのための話し方、聞き方」と題して講演を行いました。橋本さんは「印象を良くする表現力としてLST法(ルック・スマイル・トーク)が大事です。相手を思いやる前向きな会話を心がけましょう」と実践を交えながら話されました。

その後交流会を行い、情報交換や名刺交換など企業間相互の交流を深めました。



▶講演の様子

大切な文化財を守るために 南関御茶屋跡防火訓練

国史跡豊前街道南関御茶屋跡で1月30日防火訓練を行いました。訓練には御茶屋跡を管理する南関宿場町伝楽人(宮尾洋一会長)や消防署などから約30人が参加。御茶屋跡のファンヒーターからの出火を想定し、消防署への通報から避難誘導を行い、役場消防隊と消防署員が放水するまでの一連の作業を再確認しました。

放水作業後、消防署員から初期消火の対応や消火器の使い方の講習を受けました。

宮尾会長は、「御茶屋跡は町の宝であるので、火の取扱いには特に気を使っています。木造建築で延焼速度が速いので、火災を起こさないよう注意したい」と語りました。



▶放水をする消防署の署員